

感染症発生状況

平成31年2月14日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成31年2月4日（月）～2月8日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】642名 【職員】39名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】128名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数157名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（264名）、咳・鼻水（83名）、下痢・腹痛（25名）、嘔気・嘔吐（12名）

疾病別：インフルエンザ（172名）、溶連菌感染症（31名）、水痘（19名）、胃腸炎（14名）

【職員】症状：熱（5名）、下痢・腹痛（5名）、嘔気・嘔吐（3名）、頭痛（1名）、

疾病別：インフルエンザ（20名）

インフルエンザは減少傾向にありますが、猛威をふるっています。その他に水痘、溶連菌感染症、突発性発疹が目立ちます。

依然として職員のインフルエンザが気になります。来年度はワクチンを接種しましょう。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 河北、盛南、都南地域で減少。玉山、厨川地域で増加しました。

溶連菌感染症 河北、盛南、都南地域で減少。厨川地域で増加しました。

水痘 厨川、河北地域で増加しました。

胃腸炎 厨川、盛南、都南地域で減少。河北地域で増加しました。

【県の状況（1/28～2/3）】

インフルエンザは、7地区で警報値（定点あたり患者数30人）を超えているため、引き続き注意が必要です。インフルエンザウイルスを原因とする急性脳炎も2週続けて報告されています。こまめな手洗いや体調管理による予防と、周囲の人に感染させないように、咳エチケットにより感染拡大を防止することが重要です。症状がみられる場合は早めの医療機関受診が勧められます。

溶連菌咽頭炎は、盛岡市で警報値（同8人）を超えました。主症状は突然の発熱と咽頭痛で、肺炎や髄膜炎などの合併症を引き起こす場合があります。予防には手洗いやうがいと、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

感染性胃腸炎は、盛岡市でアストロウイルスによる集団感染事例が報告されました。予防には石けんと流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便の処理に使い捨ての手袋やマスクを着用し、塩素系薬剤を用いることが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】